

ワンパーセント

イオン1%クラブ



種から育てたとうもろこしを手に記念撮影(イオン チアーズクラブ)

財団概要

イオンワンパーセントクラブは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオングループの基本理念を具体的な行動に移し、社会的責任を果たすことを目的に、グループ各社の参画のもと、1990年に設立されました。

以来30年以上にわたり、お客さまにイオングループをご利用いただき、生まれた利益の1%相当額をもとに、「子どもたちの健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域の発展への貢献」を柱に、環境・社会貢献活動に取り組んでいます。



ご寄付のお願い

次代を担う子どもたちのために、 皆さまのご支援をお願いいたします。

イオンワンパーセントクラブでは、子どもたちの教育や国際交流、地域文化の保全などの活動に取り組んでいます。なお、当財団は、内閣総理大臣より「公益財団法人」としての認定を受けておりますので、当財団への寄付金については、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。当財団より、ご寄付の領収証をお送りいたしますので、申告の際にご使用ください。今後、私たちの活動内容をさらに充実させていくために、ぜひご寄付をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

ご寄付の方法

現金での銀行振込 クレジット決済 WAON POINT

右記のコードを読み取り、寄付受付画面にお進みいただき、ご寄付の方法をお選びください。



※個人の方が控除を受けるには、現在、年末調整をされている方でも、確定申告が必要となります。
詳しい内容につきましては、最寄りの税務署にお尋ねいただくか、国税庁のホームページでご確認くださいようお願いいたします。



編集後記

第3号では、初めてのチアーズクラブ専用の農園である「チアーズ農園」をご紹介いたしました。私も開園式・第1回の活動に参加し、太陽の下で楽しそうに活動する子どもたちの笑顔を間近で見ることができました。次号でも、全国の各拠点でさまざまな活動を行っている子どもたちの姿をお届けいたします。

今後とも「イオン1%クラブ」をよろしくお願いいたします。
(橋本)

公益財団法人

ワンパーセント

イオン1%クラブ

〔発行元〕公益財団法人イオン1%クラブ

〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1

Tel 043-212-6023 Mail 1p@aeon.info

こちらのコードをスマートフォンなどで読み取ると当財団の活動の詳細をご覧ください。

<https://aeon1p.or.jp/1p/>





※1 ビヨンドミート「肉を越えて」という意味で、えんどう豆のたんばく質を主原料とした食材。
※2 グリーングロウズ/工場内で水耕栽培されたレタス。少ない水で栽培するので環境に優しい。

イオンチアーズクラブカスミつくばは、BLANDE研究学園店を活動拠点として「食の循環」をテーマに年間で全10回の活動を予定しています。第1回目は店舗見学ツアーと、オリジナルバーガーづくり。子どもたちは店内を巡りながらカスミの環境への取り組みについて学びました。

オリジナルバーガーは、材料にBEYOND MEAT(※1)・ygreen growers(※2)を使用。米粉パンに具とソースをささみ、出来立ての温かいバーガーを試食しました。初めて会ったメンバー同士も少しずつ打ち解け、笑顔あふれる活動となりました。

オリジナルバーガーをつくらう！

活動レポート 2 「食の循環」を学ぶ。

第1回目 2023 04 / 22 Sat



第2回目 2023 05 / 13 Sat

「茶つみ」にチャレンジ！
茨城県坂東市「お茶の根本園」で工場見学、急須で淹れた新茶の味見、お茶の苗の植え替えを体験。子どもたちからは「お茶づくりの大変さがわかった」「苦くなくておいしい!」「『茶つみ』の歌の意味がわかった。」などの声が聞かれました。



第3回目 2023 06 / 10 Sat
お米の苗を植えてみよう！

茨城県つくば市「筑波大学 T-PRC農場」でお米ができるまでの話を聞き、田植えに挑戦。お米づくりの大変さを体感しました。子どもたちは「田んぼにアメンボやオタマジャクシがいた」など自然への気付きがありました。

苗は5〜6本ずつ植えることがわかった！



田植えは大変だったようで、お米を残さないようにしようという気持ちが芽生えました。



第2回目 2023 05 / 27 Sat
収穫の日を楽しみに。

小玉スイカについて学んだ後、丁寧に一苗ずつ植えていきました。その後「ゆかた娘」という品種の枝豆の種をまき、暑い日差しの中、汗をかきながら楽しく作業しました。



第1回目 2023 04 / 29 Sat
チアーズ農園、開園！

イオンチアーズクラブ「つくば」「下妻」「ウエルシアつくば」のメンバーが「イオン茨城牛久農場」内のチアーズ農園に集合し、開園式と第1回目の活動が行われました。5種類の農作物を種や苗から育て、農業について学びます。



活動レポート 1 農作業の体験を通じて、学ぶ。



AEON Cheers Club Report

イオン チアーズクラブレポート

イオン チアーズクラブとは

小中学生を対象とし、環境や社会に興味・関心を持ち、考える力を育む場として、全国400店舗を拠点にさまざまな体験学習を行っています。

実際に見て、触れて、考える



第1回目
2023 06 / 24 Sat

新茶を摘もう。

イオンチアーズクラブウエルシアずおかのメンバー23名が顔を合わせ、開始式が行われました。式の後、掛川市のキウイフルーツカントリーJapanを訪れ、お茶摘みを体験しました。

「はじめてのお茶摘み体験で、どの葉がおいしいのかなと思いつながらたくさんお茶を摘めたので楽しかったです。」「お茶をブチブチ摘むのが楽しかったです。新茶の特徴である一芯二葉を覚えまして！」と子どもたちは楽しく学びながら、お茶摘み体験をしていました。

当日に初めて会った他のメンバーとも打ち解け、帰るまでにすっかり仲良くなっている様子も見受けられました。



初めてのお茶摘み、楽しかった！

イオンチアーズクラブ メンバー募集中！

- Q お金はかりますか？
A 入会金・年会費はかかりません。
- Q どこで活動していますか？
A 所属するクラブを拠点に、山・畑などで活動します。

入会をご希望の方は、こちらのコードを読み取り、新規登録フォームから申請をお願いします。
<https://aeon1p.or.jp/aeoncheersclub/ja/register>



一緒に学ぼう！

考えをまとめ、書く力を養う

中学生 作文コンクール

自分の考えをまとめ、
他者へ伝える力を養う。

中学生が、社会問題をテーマに自分自身の考えをまとめ、書く力を養うことを目的に、2003年から実施しています。2023年は、「地球環境のために今できること」をテーマに作文を募集し、11月上旬の受賞発表を予定しています。金賞に選ばれた10名の中学生の皆さんを東京で行われる1泊2日のツアーにご招待します。

第21回 テーマ

地球環境のために 今できること



「地球環境のため」というと、大げさに聞こえてしまうかもしれませんが、私たちのこれからの行動が地球の環境に大きく影響することは紛れもない事実です。だからこそ、今私たちができることは何でしょうか？あなたの考えを作文にして送ってください。

応募締切

2023年9月22日(金)

応募方法

公式HPをご確認ください。
<https://www.asagaku.com/2023/aeon/index.html>



応募者全員に
参加賞を
差し上げます！

環境について、考えよう。

広めよう、エコ活動の環

イオン エコワングランプリ

高校生が日ごろ学校で取り組んでいる環境活動について発表を行い、表現力や発信力が向上することを旨として、2012年より開催しています。内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・環境大臣賞などの表彰を行い、受賞校に賞状と活動奨励金を授与しています。最終審査会は、2023年12月に東京近郊の会場で開催し、各校の発表と質疑応答をもとに選考を行った後、表彰式を行います。

環境について
自由に発想し、行動する。

第12回 テーマ

高校生が学校単位で 取り組んでいる 「エコ活動」



高校生が取り組んでいる環境保全活動全般を対象とし、環境の専門家が審査します。内閣総理大臣賞を受賞した学校には、活動奨励金50万円を授与。みなさんが取り組むエコ活動を、ぜひ発表してください。

応募締切

2023年9月19日(火)

応募方法

公式HPをご確認ください。
<https://www.eco-1-gp.jp/>





© UNICEF/UN0798507/Haddad

被災地の復興と
さらなる発展を願う



緊急災害復興支援とは
大規模災害により被災した方々が、
日常生活を一日でも早く取り
戻せるよう、復旧・復興活動にお役
立ていただくため、迅速な緊急支
援金の寄付等を行っています。

2023年2月6日にトルコ・シリア国境
付近を中心に発生した大地震により、数万人
の方々が亡くなられ、多くの被災された方が
いまま避難生活を余儀なくされています。
災害の初期段階では迅速な支援が不可欠
であると考え、駐日トルコ共和国大使館へ
2月14日に1,000万円を寄付しました。
また、厳しい寒さの中、テント生活を強い
られている被災地の方々へ、毛布6,000枚、
寝袋2,000枚を3月10日に寄付しました。
さらに、長期の避難生活を余儀なくされて
いる子どもたちには、教育の場や資材、安全
な水、メンタルケアを含めた医療の提供など
が必要であると考え、支援にお役立ていた
だくため、5月23日、公益財団法人日本ユニセフ
協会に対し3,500万円を寄付しました。

一日も早く、
安心して生活が
できるように

トルコ・シリア大地震

緊急支援金3,500万円贈呈式



日本と母国の
架け橋となる

イオン スカラシップ

認定証授与式

イオン スカラシップ(奨学金制度)とは

アジア各国の大学生および日本で学ぶアジアの私費留学生を対象に、
日本と母国の架け橋となり活躍して欲しいとの願いのもと、給付型奨学金
事業として授業料と生活費の両方を支給しています。

2023/07/15 [Sat] 千葉県千葉市のイオンタワーにおいて開催。

国内14大学で学ぶ55名の奨学生およびご
来賓の方々に会場にお迎えし、イオンスカラ
シップ認定証授与式を開催いたしました。
中華人民共和国駐日本国大使館 首席公使
楊宇様より祝辞をいただいた後、奨学生による
「私の夢」スピーチが行われ、東京大学の曹
さんは「医薬品業界のリーダーとして、日中
の医薬品小売業界の架け橋となって両国間の
協力を促進し、患者さんが医薬品を購入する
際に直面するさまざまな問題を解決したい」
と夢を語りました。
また、2009年に卒業された元奨学生の
黄さんも参加され、当時は奨学金のおかげで
研究に専念できたこと、イオンスカラシップ
の研修が日本の企業への就職を希望するきつ
かけとなったこと、現在は日本で就職し日々
ご活躍されていることを語ってくださいまし
た。母国を離れ日本で活躍されている姿は、
奨学生にとって大きな励みとなったことと
思います。
懇親会では、外務省大臣官房 人物交流室長
渡邊 慎二様より乾杯のご発声をいただき、
ご来賓の方々と奨学生たちとの国籍の枠を
超えた交流が生まれ、奨学生たちが自らの
将来について考える機会となりました。
当財団は、経済的支援のほか研修やボラン
ティア活動の機会を提供することで、大学や
国籍の枠を超えたネットワークが構築され、
アジアの平和につながる友好の輪ができる
ことを願っています。

